

～会員事業者が絡む重大事故続発～ 事故防止の徹底に向けた緊急要請

会員事業者 各位

令和6年 11 月1日
一般社団法人静岡県トラック協会

新聞報道等で既知のことと存じますが、昨日 10 月 31 日、浜松市浜名区小松において、事業用大型トラックが自転車運転者をはね、現場からそのまま立ち去り、ひき逃げの疑いで当該トラック運転者が逮捕される**死亡ひき逃げ事故**が発生しました。同月 24 日には、広島県廿日市市で、県内に営業所を置く中型トラックが自衛隊車両に衝突する事故が発生、当該トラックの運転者は休息していたサービスエリアで飲酒し、**酒気帯びの状態**であったため現行犯逮捕されました。いずれの重大事故も**当会会員事業者が関係**しているとみられており、誠に憂慮すべき状況にあります。

このような事態を踏まえ、会員各社におかれましては、今一度、安全運行・輸送の安全確保を再確認し、下記事項について徹底して取り組まれるよう要請いたします。

記

1. 改正された改善基準告示に則る乗務割の作成及び運転時間や拘束時間、休息期間確保などドライバーに対する関係法令を遵守することの徹底
2. 右左折時の事故防止対策をはじめ、最高速度・規制速度の遵守及び適正な車間距離の確保など、道路交通法等関係法令遵守の関係者に対する指導の徹底
3. 乗務前後の対面点呼時はもとより、対面でなく電話その他の方法で行う点呼の場合においても、アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認が確実にできる点呼実施体制の確立

死亡ひき逃げの疑い
浜北署、袋井の運転手逮捕
31日午後1時ごろ、浜松市浜名区小松の市道交差点付近で、自転車を運転していた**が大型トラックにはねられ、頭を強く打ち死亡した。浜北署は同日夜、自動車運転処罰法違反（過失致死）と道交法違反（ひき逃げ）の疑いでトラックを運転していた**
容疑者**を逮捕した。逮捕容疑はトラックを運転中、**さんをはねた後、その場を走り去り、死亡させた疑い。同署によると、防犯カメラや通行車両のドライブレコーダーなどで容疑者のトラックを特定した。**容疑者は県西部の**

飲酒運転事故

＜中型トラックの酒気帯び運転事故＞

10月24日(木)午前9時17分頃、広島県廿日市市の国道において、静岡県に営業所を置く中型トラックが運行中、前方を走行していた陸上自衛隊の車両に衝突した。この事故によるけが人はいない。中型トラックの運転者は酒気帯びの状態であったため、駆け付けた警察官により現行犯逮捕された。事業者によると、運転者は休息していたサービスエリアで飲酒したとのこと。

【国交省メールマガジン「事業用自動車安全通信」第 783 号(R6.10.25)より】

運送会社に勤務するドライバーとみられる。現場は信号がある交差点。同署は事故当時の詳しい状況を調べている。